

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	17 いつでも安心して水が使えるようにする	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	1 安全な水をつくる	【項】	都市基盤の整備
【基本事務事業】	1701 良質な水にする	【基本計画区分】	502【担当課】 5212000 水道部工務課

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性
トラブル量について実績値 444.13(H13)を目標値 100にする。	都市のマンション等の共同住宅で受水槽を介した水道水の供給に対して水質面で不安を抱く人が多くあり、浄水器やアルカリオン浄水器が普及している。また、ボトルウォーターの普及がすすみ水を買って飲む人が多くなっている。一方、鉛の残留基準が規制が強化され、テロ、地震災害等の事故対策の強化が望まれている。本市においても、事故発生時に迅速な対応が求められるとともに未然に事故を防ぐ体制づくりを通じ利用者の健康を守る安全な水の供給が求められている。	170101	水道事業会計負担金・出資金	成果改善 水質等の苦情が無くなるように、運転管理委託業者の技術向上を図り、安定給水を図る。
		170102	北千葉広域水道企業団負担金	
		170103	浄水施設の運転管理	
		170104	消毒設備の運転管理	

【重要性】	【今後の課題】	【指標】	上段:予算目標 下段:実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
市民が安心していつでも水を使うために日々変化する水質の適正な運転管理につとめ、利用者の健康を損なわない安全な水の安定供給を目指していく。	水質汚染の多様化・複雑化(0-157, クリプトスポリジウム、ダイオキシンなど)や、いつおきてもおかしくない関東地方直下型の大地震などへの対応、水道水に対する評価が若者ほど低いことなどが懸念材料となっており、これまでの水道事業運営のノウハウを活用し危機管理意識の徹底が求められている。	水質基準の合否	(%)	100	100	100	100	100
	【現状分析】		(%)	100	100	100	100	100
	安定した水圧、安定した水質が確保できるよう、老朽した施設を更新したが、新しい施設の運転管理に委託業者が不慣れなため、管理目標とする安定した水質となっていない。		(%)	0	0	0	0	0
			(%)	0	0	0	0	0

【政策】	17 いつでも安心して水が使えるようにする	【施策】	1 安全な水をつくる
【基本事務事業】	1701 良質な水にする	担当課:	5011000
【事務事業】	170101 水道事業会計負担金・出資金	都市整備本部企画管理室	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 502 戦略区分 一

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
一般会計で負担すべき経費を、水道事業会計に支出することにより、水道事業会計の負担を軽減し、料金値上げの抑制と健全経営の維持を目的とする。	(0)		0	0	0	0	0	計画額	133,881	111,369	118,036	122,836	124,763
	(0)		0	0	0	0	0	(一般財源)	31,281	31,869	31,936	31,936	32,263
	(0)		0	0	0	0	0	予算額	133,881	111,369	130,669	129,515	227,903
	(0)		0	0	0	0	0	(一般財源)	31,281	31,869	31,069	31,915	62,903
	(0)		0	0	0	0	0	決算額	109,181	93,269	131,955	102,515	181,179
	(0)		0	0	0	0	0	職員数	0	0	0	0	0
	(0)		0	0	0	0	0	単位) 事業費:千円 職員数:人					

【対象】	水道事業会計	【業務】	
		【指標値】上段:予算目標 下段:実績	

【定量分析】:課題・現状分析  
 経費負担の原則により、消火栓・消防施設経費、退職手当経費(一般会計在職分)、保留地購入経費(第5次拡張事業)を負担した。また、繰出基準に基づき、石綿管更新事業費や新小金浄水場自家発電設備設置費等の一部を負担した事により、水道事業会計の負担を軽減し、健全経営の維持及び漏水や震災対策上の問題点解消に寄与した。『評価対象外』

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性  
 消火栓等の負担金は、義務的経費のため今後も負担し、石綿管更新事業においても事業完了(平成25年度予定)まで計画に基づき負担する事により、引続き水道事業会計の健全経営の維持及び、漏水対策や震災対策の向上に貢献していく。『評価対象外』



平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 17 いつでも安心して水が使えるようにする  
 【基本事務事業】 1701 良質な水にする  
 【事務事業】 170104 消毒設備の運転管理

【施策】 1 安全な水をつくる  
 担当課: 5212000  
 水道部工務課

会計区分 水道事業 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
水を細菌汚染から守るため、塩素濃度を管理する。	残留塩素濃度 (mg/l%)	給水管末の残留塩素濃度	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	計画額	9,042	8,202	8,182	8,214	8,215
			0.5	0.5	0.55	0.57	0.56	(一般財源)	0	0	0	0	0
	()		0	0	0	0	0	予算額	9,042	8,202	8,182	8,214	8,215
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
	()		0	0	0	0	0	決算額	13,794	13,442	20,031	19,504	19,529
			0	0	0	0	0	職員数	0.61	0.61	0.61	0.61	0.61
【対象】 水道利用者							【業務】	滅菌施設の運転 残留塩素濃度測定					

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析  
 残留塩素の安定化

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性  
 残留塩素の安定化のため、常時監視が出来る監視装置を導入する。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	17 いつでも安心して水が使えるようにする	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	1 安全な水をつくる	【項】	都市基盤の整備
【基本事務事業】	1702 事故を防止する	【基本計画区分】	502【担当課】 5212000 水道部工務課

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性
トラブル量について 実績値 444.13を 目標値 100にする	都市のマンション等の共同住宅で受水槽を介した水道水の供給に対して水質面で不安を抱く人が多くあり、浄水器やアルカリイオン浄水器が普及している。また、ボトルウォーターの普及がすすみ水を買って飲む人が多くなっている。一方、鉛の残留基準が規制が強化され、テロ、地震災害等の事故対策の強化が望まれている。本市においても、事故発生時に迅速な対応が求められるとともに未然に事故を防ぐ体制づくりを通じ利用者の健康を守る安全な水の供給が求められている。	170201	取水、浄水、配水施設の警備	成果改善 警備会社との連携も含め、監視設備の運用とトラブルに対応する時間の短縮を図る。
	【今後の課題】	170202	受水のトラブル防止	
	情報収集方法のマニュアル化をはかり、情報収集時間の短縮に努めていく			

【重要性】  
トラブルを未然に防ぐために、不審者の侵入時や事故発生時に早急に初動体制をとる必要がある。そのために、危機管理の情報管理方法に細心の注意をはらい、早期に情報収集ができるようにする。

【現状分析】  
井戸水源及び浄水場防護柵の改修、監視装置の設置が完了し、運用を開始したところであり、運用上の問題点がまだ見えてこない。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
情報収集時間の短縮			216	192	168	144	120
(時間)			120	120	120	120	0
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	17 いつでも安心して水が使えるようにする	【施策】	1 安全な水をつくる
【基本事務事業】	1702 事故を防止する	担当課:	5212000
【事務事業】	170201 取水、浄水、配水施設の警備	水道部工務課	会計区分 水道事業 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -
【目的】	【指標】	【指標概要】	【事業費】
取水、浄水、配水施設の人為的なトラブルを防止するため、防犯施設を設置し、監視を強化する。	情報収集時間(時間)	施設に危害を及ぼすような事態が起きてから状況を把握するまで。	[H15] [H16] [H17] [H18] [H19] 計画額 1,004 15,000 16,800 16,800 14,800 (一般財源) 0 0 0 0 0 予算額 1,004 15,000 16,800 16,800 14,800 (一般財源) 0 0 0 0 0 決算額 15,489 14,733 6,677 6,501 6,510 職員数 0.15 0.15 0.15 0.15 0.15 単位) 事業費: 千円 職員数: 人
	( )		【業務】 防犯システムの導入 巡視点検
【対象】	( )		
水道利用者			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績
	【定量分析】: 課題・現状分析		【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
	防護柵の更新及び監視システムを導入した。		既存の監視施設の更新を行い、警備強化を図る。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 17 いつでも安心して水が使えるようにする  
 【基本事務事業】 1702 事故を防止する  
 【事務事業】 170202 受水のトラブル防止

【施策】 1 安全な水をつくる  
 担当課: 5212000  
 水道部工務課

会計区分 水道事業 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
受水の安全を高めるため、トラブルに対応する。	伝達時間(時間)	北千葉広域水道企業団から水道部への水質異常の情報伝達に要する時間	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	計画額	0	0	0	0	0
			1	1	1	1	1	(一般財源)	0	0	0	0	0
	()		0	0	0	0	0	予算額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
	()		0	0	0	0	0	決算額	2,002	1,940	6,109	6,501	6,510
			0	0	0	0	0	職員数	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18
【対象】 水道利用者								【業務】	緊急連絡体制の構築 緊急連絡体制の運用				

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

水質事故対応マニュアルを作成し、運用している。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性  
 迅速な情報伝達と情報の共有を図り、受水する水の安全性を高める。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	17 いつでも安心して水が使えるようにする	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	2 安定して水を供給する	【項】	都市基盤の整備
【基本事務事業】	1703 水量を適正割合で確保する	【基本計画区分】	502【担当課】 5212000 水道部工務課

【目的】	出水不良量について 実績値 21.74(H13) を目標値 10にする	【背景】	長引く景気の低迷により民間企業の経費節減やボトルウォーターの普及、少子高齢化、省洗剤型洗濯機、節水トイレや食器洗い乾燥機等の節水機器の普及や調理済み食品などライフスタイルの変化から、水道使用料が減少している。今後は、施設の運営について、水需要の予測が大変重要となっている。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
				170301	井戸の保全	今後とも井戸の保全に努め、許可水量を維持して現状の受水割合を堅持する。
				170302	受水の確保	

【重要性】  
本市の受水割合は、地下水(44.5%)、北千葉広域水道企業団(55.5%)となっており、井戸の延命に備え適正な維持管理を行い、地下水の受水割合の増加を図る。また、合理的な受水量を確保するため、北千葉広域水道事業団との円滑な協議を図っていく必要がある。

【今後の課題】  
水需要の予測をしながら、井戸の延命をはかり、応分の受水に努めるとともに、合理的な受水量を確保するため、北千葉広域水道事業団との円滑な協議を図っていき、必要量の水量の確保に努めていく必要がある。

【現状分析】  
井戸の保全に努め、受水割合を45%にとどめている。井戸の老朽化により取水量の減少することが考えられる。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
受水割合の実績値			44.67	44.75	44.83	44.92	45
(%)			43.72	44.41	44.86	42.97	42.94
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	17 いつでも安心して水が使えるようにする	【施策】	2 安定して水を供給する
【基本事務事業】	1703 水量を適正割合で確保する	担当課:	5212000
【事務事業】	170301 井戸の保全	水道部工務課	会計区分 水道事業 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -

【目的】	井戸の延命を図るため、維持管理する。	【指標】	井戸能力(??/日)	【指標概要】	小金地区:9,800??/日 常盤平地区:9,700??/日	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
						19500	19500	19500	19500	19500	計画額	56,794	51,759	31,674	31,716	31,667
						19500	19500	19500	19500	19500	(一般財源)	0	0	0	0	0
						0	0	0	0	0	予算額	56,794	51,759	31,674	31,716	31,667
						0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
						0	0	0	0	0	決算額	71,147	60,731	17,776	24,358	50,814
						0	0	0	0	0	職員数	2.01	2.01	2.01	2.01	2.01
											単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
【対象】	水道利用者					0	0	0	0	0	【業務】	井戸能力の設定				
						0	0	0	0	0		改良工事				
												ポンプ運転管理				

【定量分析】:課題・現状分析  
井戸の内部調査を行い、調査結果により井戸の改修工事を実施して井戸の延命を図った。

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性  
全ての井戸の内部調査を引き続き行い、改修計画を策定して適正な管理を行う。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 17 いつでも安心して水が使えるようにする  
 【基本事務事業】 1703 水量を適正割合で確保する  
 【事務事業】 170302 受水の確保

【施策】 2 安定して水を供給する  
 担当課: 5212000  
 水道部工務課

		会計区分					水道事業					計画区分		一般事業		502		戦略区分		-		
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【業務】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]			
合理的な受水量を確保するため、北千葉広域水道企業団及び構成団体との円滑な協議をする。	覚書水量(??/日)	北千葉広域水道企業団が水利権を全量取得した時を基準とした受水の基本水量	16000	16000	16000	16000	16000	計画額	439,613	455,240	423,203	423,324	424,194	受水計画の策定 北千葉構成団体との協議								
			12500	12500	12500	12500	12500	(一般財源)	0	0	0	0	0									
	()			0	0	0	0	0	予算額	439,613	455,240	423,203	423,324		424,194	単位) 事業費:千円 職員数:人						
				0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0		0							
	()			0	0	0	0	0	決算額	441,865	440,458	618,011	601,736		602,506							
				0	0	0	0	0	職員数	0.22	0.22	0.22	0.22		0.22							

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

受水量を適性割合で確保し、安定給水を行うことが出来た。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

今後とも適性割合を堅持し、安定給水に必要な受水量を確保する。

【政策】 17 いつでも安心して水が使えるようにする  
 【施策】 2 安定して水を供給する  
 【基本事務事業】 1704 需要の変化に対応する

【節】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興  
 【項】 都市基盤の整備  
 【基本計画区分】 502【担当課】 5212000 水道部工務課

【目的】  
 出水不良量について 実績値 21.74(H13)  
 を 目標値 10にする

【背景】  
 長引く景気の低迷により民間企業の経費節減やボトルウォーターの普及、少子高齢化、省洗剤型洗濯機、節水トイレや食器洗い乾燥機等の節水機器の普及や調理済み食品などライフスタイルの変化から、水道使用料が減少している。今後は、施設の運営について、水需要の予測が大変重要となっている。また、本市において、新潟中越地震と同一規模の地震が発生した場合、水の供給が断たれ、水源の確保も困難になることが予想される。

【今後の課題】  
 災害等の非常時においても最低限の用水を確保するため、平成17年度から始まる第5次拡張事業により施設全般の老朽化を改善する。また、施設の運営について、水需要の予測に慎重に対応する。

【重要性】  
 災害時において最低限の用水を確保するために、地震等の災害に強い施設の整備を図る。

【現状分析】  
 安定と安心給水のため、現在老朽化した施設の更新と石綿管更新事業を行ってきたが、施設の更新については、平成20年度の拡張事業の完了を持って大半が完了する。石綿管更新事業についても平成25年度の完了を目途に進めているが、基幹配水管の耐震化が遅れている。

コード 配下事務事業名  
 170401 浄水、配水施設の整備  
 170402 配水管の整備  
 170403 配水施設の運転管理  
 170404 適正な給水装置の設置

【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 事業拡大  
 基幹配水管の耐震化と、鉛給水管の更新を計画的に進め、安心な水質を確保し漏水の防止に努める。

【指標】	上段:予算目標	下段:実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
給水制限の回数			0	0	0	0	0
(件)			0	0	0	0	0
( )			0	0	0	0	0
( )			0	0	0	0	0

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	17	いつでも安心して水が使えるようにする	【施策】	2	安定して水を供給する
【基本事務事業】	1704	需要の変化に対応する	担当課:	5212000	
【事務事業】	170401	浄水、配水施設の整備	水道部工務課	会計区分	水道事業
				計画区分	計画事業
				502	戦略区分

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
水需要の変化に対応するため、施設の拡充と整備をする。	配水池貯水能力(時間)	配水池総容量/一日最大配水量×24	100	100	100	100	100	計画額	130,000	487,652	776,800	1,026,118	401,502
			95.08	95.47	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	予算額	130,000	487,652	776,800	1,026,118	401,502
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	決算額	10,232	15,793	239,535	823,998	1,079,117
							職員数	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	
							単位) 事業費:千円	職員数:人					
【対象】			0	0	0	0	0	【業務】	第5次拡張事業 老朽施設更新				
水道利用者			0	0	0	0	0						

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

第5次拡張事業の全ての工事を発注し、工事に着手した。老朽化施設の内、常盤浄水場のポンプ設備、電気設備の更新を行った。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

老朽化施設の更新計画を立て、順次更新に着手する。

【計画事業】

【計画事業名】 市営水道の浄水・配水施設の整備事業(第5次拡張事業)

【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】 都市基盤の整備

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	滅菌施設建設工事	配水池・管理棟築造工事	管理棟築造工事配水ポンプ設備工事 電気計装工事自家発電機設備工事	配水ポンプ設備工事電気計装工事 自家発電機設備工事ろ過機設備工事 場内配管工事	場内整備工事
実績	未実施平成18年度着手予定	未実施平成17年度着手予定	配水池築造工事着手	管理棟築造工事着手電気計装工事 着手機械設備工事着手自家発電機設備工事着手	場内配管工事着手太陽光発電設備 工事着手場内整備工事着手

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 17 いつでも安心して水が使えるようにする  
 【基本事務事業】 1704 需要の変化に対応する  
 【事務事業】 170402 配水管の整備

【施策】 2 安定して水を供給する  
 担当課: 5212000  
 水道部工務課

		会計区分 水道事業					計画区分 計画事業					502	戦略区分	—
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
耐震性の向上を図り、かつ管網を改善するため、配水管の更新及び布設をする。	石綿管の残延長(件)	更新する計画延長平成21年まで6,000m平成22～24年まで9,000m平成25年で6,139.5mで完了	71160	65160	59160	53160	47160	計画額	626,131	532,243	526,466	518,068	514,393	
			70521	63842	57227	50663	43939	(一般財源)	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	予算額	626,131	532,243	526,466	518,068	514,393	
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	決算額	483,571	432,950	444,994	454,784	446,054	
【対象】 水道利用者	(0)		0	0	0	0	0	職員数	1.23	1.23	1.23	1.23	1.23	
			0	0	0	0	0	単位) 事業費: 千円 職員数: 人						
			0	0	0	0	0	【業務】	石綿管更新事業 配水管の改良 配水管の布設					

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

石綿管の更新を、平成15～19年度で33,221m更新し、年度目標であった6km/年を上回り、平均で6.64km更新することが出来た。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

今後も目標とする更新延長をクリアして、平成25年度に石綿管更新事業を完了する。

【計画事業】

【計画事業名】 市営水道の配水管整備事業(石綿管更新事業)

【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】 都市基盤の整備

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	石綿管更新事業	石綿管更新事業	石綿管更新事業	石綿管更新事業	石綿管更新事業
実績	石綿管を6,639m更新	石綿管を6,678.8mm更新	石綿管を6,615.3m更新	石綿管を6,563.4m更新	石綿管を6,724.5m更新

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	17	いつでも安心して水が使えるようにする	【施策】	2	安定して水を供給する								
【基本事務事業】	1704	需要の変化に対応する	担当課:	5212000									
【事務事業】	170403	配水施設の運転管理	水道部工務課	会計区分	水道事業 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
適正水圧を維持するため、適正な管理をする。	配水圧(Mp)	浄・配水場から加圧して送る水圧	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	計画額	59,159	67,600	67,477	67,553	67,491
			0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	予算額	59,159	67,600	67,477	67,553	67,491
(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(一般財源)	0	0	0	0	0	
(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	決算額	73,099	70,593	456,240	366,010	362,746	
								職員数	1.84	1.84	1.84	1.84	1.84
								単位) 事業費：千円 職員数：人					
【対象】	水道利用者		【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					【業務】	運転管理 保全管理				
【定量分析】: 課題・現状分析						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
安定給水のため、老朽化した配水設備の更新を行った。						老朽化した残存配水施設の更新を計画的に行い、安定した水圧の確保をする。							

【政策】	17	いつでも安心して水が使えるようにする	【施策】	2	安定して水を供給する								
【基本事務事業】	1704	需要の変化に対応する	担当課:	5212000									
【事務事業】	170404	適正な給水装置の設置	水道部工務課	会計区分	水道事業 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
水道受益者が適正な給水を受けるため、給水装置工事の適正な施行をする。	無指摘合格率(%)	検査無指摘件数/検査件数	65	70	75	80	90	計画額	0	0	0	0	0
			85	85	85	85	85	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	予算額	0	0	0	0	0
(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(一般財源)	0	0	0	0	0	
(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	決算額	16,015	15,517	17,560	16,874	16,437	
								職員数	1.44	1.44	1.44	1.44	1.44
								単位) 事業費：千円 職員数：人					
【対象】	水道利用者		【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					【業務】	給水装置工事店の指定 申請審査 給水装置検査				
【定量分析】: 課題・現状分析						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
施工基準を遵守しない施工業者がいるため指導・監督を行った。						今後とも施工基準を遵守させる。							

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	17 いつでも安心して水が使えるようにする	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	3 低廉な水にする	【項】	都市基盤の整備
【基本事務事業】	1705 健全な経営をする	【基本計画区分】	502【担当課】 5211000 水道部総務課

【目的】 料金据え置き期間について 実績値 3か年目を平成17年度料金改定後据え置き(3か年目)にする。	【背景】 長引く景気の低迷により民間企業の経費節減やボルトウォーターの普及、少子高齢化、省洗剤型洗濯機、節水トイレや食器洗い乾燥機等の節水機器の普及や調理済み食品などライフスタイルの変化から、水道使用料が減少している。今後、施設の運営について、水需要の予測が大変重要となっている。また、老朽化した施設の更新事業が平成17年度から開始となるが、平成21年度以降、第5次拡張事業の完成とともに減価償却費を計上することに加え、石綿管更新事業の企業債発行により赤字経営になることが予想される。さらなる経費削減の努力を行なうと共に財源の見直しを行い健全経営を行い、経営状況の	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 事業拡大					
	【今後の課題】 施設の老朽化や長引く景気低迷などにより毎年使用水量が減少傾向にあり、料金収入の伸びが期待できないことから、施設の延命をはかり、総合的な経営努力により経営基盤のさらなる強化をはかる。また、利用者に経営情報などの情報を公開し、水道事業への理解を深めてもらう。	170501	財務、人事の管理	第5次拡張事業が20年度に完了し、21年度以降多額の減価償却費が発生するため、経営の安定のため平成23年度に料金改定を行わざるを得ない。					
【重要性】 現在、水道使用料について平成8年度の値上げ以来、据え置きとなっているが、水道使用料の伸びが見込めず、老朽化した施設の更新に費用がかかることから、今後、水道使用料金の値上げが予想されている。さらなる経費削減や財源の見直しにより健全経営を保持し、利用者の理解がえられるよう経営状況の公表を実施することが重要となっている。	【現状分析】 第5次拡張事業が20年度に完了し、21年度以降多額の減価償却費が発生するため、平成23年度に料金改定を行わざるを得ない。	【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
			総資本利益率	(%)		0.063	0.05	0.036	0.023
				(%)	0.23	0.35	0.37	0.27	0.3
					0	0	0	0	0
					0	0	0	0	0

【政策】	17	いつでも安心して水が使えるようにする	【施策】	3	低廉な水にする								
【基本事務事業】	1705	健全な経営をする	担当課:	5211000									
【事務事業】	170501	財務、人事の管理	水道部総務課	会計区分	水道事業 計画区分 一般事業 502 戦略区分								
【目的】 赤字経営とならないように、適正な経営に努める。	【指標】 経常収支比率(%)	【指標概要】 経常収益/経常費用	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
			100.35	100.35	100.35	100.35	100.35	計画額	73,366	78,229	79,238	80,364	81,155
			102.38	103.8	104.21	103.31	103.7	(一般財源)	0	0	0	0	0
	( )		0	0	0	0	0	予算額	73,366	78,229	79,238	80,364	81,155
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	決算額	63,667	65,343	67,062	68,826	70,636
								職員数	6.79	6.79	6.79	6.79	6.79
								単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
【対象】 職員	( )		0	0	0	0	0	【業務】	予算の管理				
			0	0	0	0	0		財産の管理				
									職員の管理				
									量水器の維持管理				

【定量分析】:課題・現状分析  
赤字経営とならないように、適正な経営に努める。

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性  
平成19年度まで黒字経営を続けている。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	17	いつでも安心して水が使えるようにする	【施策】	3	低廉な水にする								
【基本事務事業】	1705	健全な経営をする	担当課:	5212000									
【事務事業】	170502	施設の管理	水道部工務課	会計区分	水道事業 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
低コストの給水を行うため、適切な維持管理を行い、施設の延命を図る。	延命度(電気・機械)(人)	電気、機械設備等重要施設の耐用年数と比較した5段階評価	4	4	4	4	4	計画額	77,452	84,984	85,280	85,121	77,281
			4	4	4	4	4	(一般財源)	0	0	0	0	0
	延命度(構造物)(人)	配水池等の構築物重要施設の耐用年数と比較した5段階評価	4	4	4	4	4	予算額	77,452	84,984	85,280	85,121	77,281
			4	4	4	4	4	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	決算額	112,708	101,516	0	0	0
			0	0	0	0	0	職員数	1.69	1.69	1.69	1.69	1.69
【対象】	( )							【業務】	保守管理 漏水等修繕				
水道利用者								【指標値】	上段: 予算目標 下段: 実績				
								【定量分析】:	課題・現状分析				
									整備台帳を整理して、施設の状況を把握することに努めた。				
									【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 老朽化した施設の適正な保全に努める。				

【政策】	17	いつでも安心して水が使えるようにする	【施策】	3	低廉な水にする								
【基本事務事業】	1705	健全な経営をする	担当課:	5211000									
【事務事業】	170503	運営管理	水道部総務課	会計区分	水道事業 計画区分 一般事業 0 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
	( )		0	0	0	0	0	計画額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
	( )		0	0	0	0	0	予算額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	決算額	69,074	75,597	82,733	90,543	99,418
			0	0	0	0	0	職員数	0	0	0	0	0
								【業務】	通常庶務 議会関係庶務 監査関係庶務 その他				
【対象】	( )							【指標値】	上段: 予算目標 下段: 実績				
								【定量分析】:	課題・現状分析				
									水道事業を円滑に進めるため所要の管理を行う。				
									【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 水道事業の事務を円滑に進めた。				

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 17 いつでも安心して水が使えるようにする  
 【基本事務事業】 1705 健全な経営をする  
 【事務事業】 170504 運営維持

【施策】 3 低廉な水にする  
 担当課: 5212000  
 水道部工務課

			会計区分					計画区分						
			水道事業		一般事業			0		戦略区分				
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
【目的】	()		0	0	0	0	0	計画額	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0	
	()			0	0	0	0	0	予算額	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
	()			0	0	0	0	0	決算額	94,303	89,578	0	0	0
				0	0	0	0	0	職員数	0	0	0	0	0
【対象】	()		0	0	0	0	0	【業務】	通常庶務 議会関係庶務 監査関係庶務 その他					
			0	0	0	0	0	【指標値】	上段: 予算目標 下段: 実績					
【定量分析】: 課題・現状分析			【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性											

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	17 いつでも安心して水が使えるようにする	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	3 低廉な水にする	【項】	都市基盤の整備
【基本事務事業】	1706 要望に対応する	【基本計画区分】	502【担当課】 5211000 水道部総務課

【目的】 現行水道料金を平成12年度から5年間据え置く。	【背景】 現在、水道料金について平成8年度の値上げ以来、据え置きとなっているが、水道使用量の伸びが見込めず、老朽化した施設の更新に費用がかかることから、今後、水道料金の値上げが予想されている。さらなる経費削減や財源の見直しにより健全経営を保持し、利用者の理解がえられるよう経営状況の公表を実施することが重要となっている。また、水道は生活を支える基本的要素であることから、健康に係る水の安全性や濁水、地震等の緊急時の対応についての要望が多く寄せられている。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性
	【今後の課題】 情報機器の配置と使用する職員の研修を充実し、多様なニーズの把握と適切な情報の発信に努めていく。	170601	利便性の向上	赤字経営とならないように、適正な経営に努める
		170602	情報の公開	
【重要性】 利用者から寄せられる水質の安全性など多様なニーズに対して、適切なサービスを提供する一方、健全経営を保持し、利用者の理解がえられるよう経営状況の公表を実施することが重要となっている。	【現状分析】 利用者から寄せられる多様なニーズに対して、適切なサービスを提供している。	【指標】	上段: 予算目標 下段: 実績	[H15] [H16] [H17] [H18] [H19]
		要望に対する処理率	(%)	100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

【政策】	17 いつでも安心して水が使えるようにする	【施策】	3 低廉な水にする
【基本事務事業】	1706 要望に対応する	担当課:	5211000
【事務事業】	170601 利便性の向上	水道部総務課	会計区分 水道事業 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -
【目的】 利用者へのサービス提供手段を改善する。	【指標】 収納率(%)	【指標概要】 収納額/調定額	[H15] [H16] [H17] [H18] [H19] 【事業費】 [H15] [H16] [H17] [H18] [H19]
			99.7 99.7 99.8 99.8 99.9 計画額 108,878 108,545 108,610 108,683 108,733
			99.76 99.74 99.6 99.7 99.4 (一般財源) 0 0 0 0 0
	無届の入居・退去件数(件)	件数	0 0 0 0 0 予算額 108,878 108,545 108,633 108,683 108,733
			0 0 0 0 0 (一般財源) 0 0 0 0 0
			0 0 0 0 0 決算額 108,312 107,805 107,870 107,935 107,999
	直結給水率(%)	直結給水件数/給水戸数	0 0 0 0 0 職員数 0.43 0.43 0.43 0.43 0.43
【対象】 水道利用者			【業務】 料金収納方法の充実整備 入退居処理の充実 直結給水の導入 マッピングシステムの導入
			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績
	【定量分析】: 課題・現状分析 利用者へのサービスを提供する。		【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 利用者へのサービスが向上した。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 17 いつでも安心して水が使えるようにする  
 【基本事務事業】 1706 要望に対応する  
 【事務事業】 170602 情報の公開

【施策】 3 低廉な水にする  
 担当課: 5211000  
 水道部総務課

会計区分 水道事業 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
利用者に水道事業の理解を求め満足していただくために、広報活動等を推進して行く。	ホームページのアクセス件数(%)	件/年	0.34	0.34	0.46	0.46	0.59	計画額	7,887	8,360	8,458	8,567	8,643
			0.38	0.4	0.4	0.4	0.4	(一般財源)	0	0	0	0	0
	施設見学者数(%)	人/年	0	0	0	0	0	予算額	7,887	8,360	8,458	8,567	8,643
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
()			0	0	0	0	0	決算額	6,930	7,035	7,142	7,251	7,361
			0	0	0	0	0	職員数	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51
【対象】 水道利用者			0	0	0	0	0	【業務】	情報の収集・提供 啓発の活動				
			0	0	0	0	0	単位) 事業費: 千円 職員数: 人					

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

利用者に水道事業の理解を求め満足していただくために、広報活動等を行う。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

利用者が満足していただける情報を提供する。